

# Nagoya University Medical Museum

## Small Exhibit 10th

三二展示会

# 伝染病と闘ってきた

— 虎列刺 室扶私 痘瘡 實布埝利亞 黒死病 そして —



## 特別講演会

7月10日(金) 14:00-15:30 (名古屋大学医学部基礎研究棟1階 会議室2)  
「わが国の疫病(伝染病)流行とその社会的衝撃」  
青木 國雄(名古屋大学名誉教授)

入場無料

2015 6. 10 WED-9. 30 WED

平日 9:00-20:00 8月10日-9月30日は9:00-17:00  
土 13:00-17:00 8月8-29日の土曜日は休館日  
休館日: 日・祝日、8月13、14、25-28、31日

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館  
名古屋市昭和区鶴舞町65  
TEL 052-744-2505



日本における伝染病対策は、1897年(明治30年)に施行された「伝染病予防法」により行われ、コレラ、セキリ、チョウチブス、トウノウ、ハッシンチブス、ショウコウネツ、ジフテリア、クルツプ、虎列刺、赤痢、腸室扶私、痘瘡、発疹室扶私、猩紅熱、實布埵利亞(格魯布ヲ含ム)及「ペスト」を伝染病と称しました。「伝染病予防法」では、家宅への立ち入り、交通遮断、隔離、死体及家屋の処分など、伝染病の拡大阻止を優先するあまり、患者の人権に対する配慮が欠けた点もありました。

医学や医療の進歩、衛生水準の向上など、感染症を巡る状況が著しく変化し、エボラ出血熱やエイズ、O-157などの新しい感染症が出現し、それに対応するため、新たな法律が必要となり、1999年(平成11年)から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行され、「伝染病予防法」は廃止されました。

「ミニ展示会 伝染病と闘ってきた」は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵する史料の中から、「伝染病予防法」施行前後の、人間と伝染病との歴史に関連する古医書、掛図などを展示公開します。

展示期間中に、特別講演会も開催します。ぜひご来場ください。



## 特別講演会

### わが国の疫病(伝染病)流行とその社会的衝撃



青木 國雄(名古屋大学名誉教授)

名古屋市生まれ

医学博士、Diploma(米国ペンシルベニア大学)、FFPH(英国王立協会)フェロー—専攻(疫学、予防医学、医学史)

名古屋大学名誉教授、愛知県がんセンター名誉総長

学術論文のほか、『がんから守る』、『医外な物語』、『40歳からの健康百科』、『未病への道』など、著書多数



### 近代医学の黎明デジタルアーカイブ

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。

### 資料ご寄贈のお願い

みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。

